

仕様書

1 概要

- (1) 件 名 外壁補修工事
- (2) 履行場所 宮城県立がんセンター
- (3) 履行期限 令和9年3月31日
- (4) 概 要 令和7年度に実施した外壁の調査結果に基づき、破損等の報告があった箇所（外壁タイル等）について必要な補修を行うもの。

2 修繕内容

- (1) 修繕範囲：全館のタイル壁面及び非タイル部
(本館(光庭含む)、研究棟、緩和ケア病棟、EV 棟、給気棟(ゴミ置き場))
- (2) 修繕箇所および工法
 - イ 修繕箇所および工法は表1及び破損数詳細資料のとおりとする
 - ロ 破損部の詳細については、契約締結後に令和7年度に実施した外壁調査の報告書の内容を共有する。なお、当該調査は、北面は打診による調査、東・西・南面はドローンを用いた赤外線および写真撮影による可視調査にて実施している。
 - ハ 透明塗膜防水材の塗布は補修範囲+10 cm程度とする。
 - ニ 診療への妨げになることから、原則、やり等による騒音及び振動の発生する作業は行わないこと（原則、やり作業禁止とする）。
ただし、破損状況等を鑑み安全上必要な場合は、修繕範囲、工法、日時等について発注者と協議し、作業箇所を極力限定した上で、日時等を決定し実施すること。
なお、騒音が発生する作業は土日祝日に行うこととし、事前にスケジュールを提示すること。
また、騒音による診療業務への影響が発生した場合には作業を中止すること。
 - ホ 高所作業について、はしご、高所作業車、足場の設置、ゴンドラの設置、ロープ作業等の方法については特に指定しないが、診療及び当院運営への影響が極力無いものとする。
 - ヘ 作業に伴う当院への影響を説明し、事前に承認を得ること。
 - ト 表1の工法により難しいときは別途協議とする。

表 1 破損数等および補修工法

番号	破損内容	破損数等	工法
(1)	タイル浮き	8,974 枚	エポキシ樹脂注入工法 ・透明塗膜防水材塗布
(2)	クラック 0.2mm 以上（可視）	10,141 枚	エポキシ樹脂注入工法
(3)	欠損（欠け、剥落、爆裂含む）	234 枚	部分張替工法
(4)	エフロレッセンス	16 枚	薬剤洗浄・エポキシ樹脂注入工法・透明塗膜防水材塗布
(5)	非タイル部 クラック	33.66 m	エポキシ樹脂注入工法
(6)	非タイル部 爆裂	2 箇所	樹脂モルタル充填工法
(7)	シール劣化	368.37 m	シール打ち替え工法

（３）修繕計画の提出

患者等当院利用者のプライバシー保護や療養環境の観点から、修繕作業を行う日時(土日祝日を含む)、場所について、事前に発注者と協議の上決定し、スケジュールを提出すること。

イ 上記スケジュールについて、発注者より変更の申し出を行った場合はスケジュールの変更を行うこと。

ロ 工法・修繕スケジュールについて、発注者職員向け説明資料の作成補助および説明会の開催(必要時 1 回を想定)を行うこと。

（４）安全配慮

修繕作業にあたり作業員および当院の利用者、職員、通行人等への安全配慮を十分に行うこと。必要に応じた規制、注意喚起を実施すること。

なお、規制等を行う場合は、規制内容を発注者と協議の上、実施すること。

（５）留意事項

イ 作業時は、社員証、名札、腕章、ネームプレート等を身につけ、第三者に身分がわかるようにすること。院内に入館する場合は守衛室にて入館手続きを行うこと。

ロ 当院の敷地内においては、円滑な医療提供の確保の観点から必要な場合は、発注者の指示に従うこと。

ハ 修繕作業にあたり、診療の妨げにならないよう十分な配慮を行うこと。

ニ 患者等当院利用者や職員のプライバシーに配慮すること。

（６）報告書類の提出

イ 修繕完了後に報告書を提出すること。

- ロ 報告書には、修繕箇所、修繕結果および修繕箇所の写真等を示した図面すること。
- ハ 報告書は、書面・電子データの両方を提出すること。

3 その他

- イ 調査報告外の破損箇所が発覚した場合には、発注者に報告すること。
- ロ その他本業務に係る具体的な事項については、発注者と協議の上、決定すること。

破損数詳細資料

計		
番号	破損内容	タイル枚数・破損長
(1)	タイル浮き	8,974 枚
(2)	クラック0.2mm以上（可視）	10,141 枚
(3)	欠損（欠け、剥落、爆製含む）	234 枚
(4)	エフロレッセンス	16 枚
(5)	非タイル部 クラック	33.66 m
(6)	非タイル部 爆製	2 箇所
(6)	シール劣化	368.37 m

調査方法	建物	発生面	タイル部					非タイル部
			浮き(枚)	クラック(枚)	欠損(枚)	エフロ(枚)	水分滞留	水分滞留
打診	本館	北面A	540	110	1	0		
		北面B	387	87	2	0		
		北面C	439	69	10	0		
		北面C-2	111	0	0	0		
		北面D	179	156	9	0		
		北面E	45	1	0	0		
		北面F	46	90	0	0		
		北面G	635	153	6	0		
		北面H	215	307	9	0		
		北面H-2	0	50	0	0		
	研究棟	北面I	10	279	0	16		
		北面I-2	0	33	0	0		
合計		2607	1335	37	16	0	0	

調査方法	建物	発生面	タイル部					非タイル部
			浮き(枚)	クラック(枚)	欠損(枚)	エフロ(枚)	水分滞留	
赤外線	本館	東面	1274				1	
		南面	1361				2	
		西面	1184				1	
		合計	3819	0	0	0	4	0

調査方法	建物	発生面	タイル部					非タイル部
			浮き(枚)	クラック(枚)	欠損(枚)	エフロ(枚)	水分滞留	
赤外線	研究棟	東面	543				0	1
		南面	0				0	0
		西面	563				3	0
		合計	1106	0	0	0	3	1

調査方法	建物	発生面	タイル部					非タイル部
			浮き(枚)	クラック(枚)	欠損(枚)	エフロ(枚)	水分滞留	
赤外線	緩和ケア病棟	東面	232				4	
		南面	407				0	
		西面	464				4	
		北面	339				2	
		合計	1442	0	0	0	10	0

調査方法	建物	発生面	タイル部							非タイル部						シーリング
			ひび割れ(枚)	欠け(枚)	浮き(枚)	剥落(枚)	爆製(枚)	汚れ(箇所)	目地劣化(箇所)	ひび割れ(m)	爆製(箇所)	発錆(箇所)	汚れ(箇所)	塗膜剥がれ(箇所)	果(箇所)	劣化(m)
可視	本館	東面	2209	30	3	0	5	21	1	7.5	0	0	5	0		1.08
		南面	965	9	3	0	13	17	5	7.29	1	2	10	5		49.05
		西面	1779	5	0	5	10	0	0	8.12	0	0	0	0		59.19
		合計	4953	44	6	5	28	38	6	22.91	1	2	15	5	0	109.32

調査方法	建物	発生面	タイル部						非タイル部						シーリング	
			ひび割れ(枚)	欠け(枚)	浮き(枚)	剥落(枚)	爆製(枚)	汚れ(箇所)	目地劣化 (箇所)	ひび割れ (m)	爆製 (箇所)	発錆 (箇所)	汚れ (箇所)	塗膜剥がれ (箇所)	果 (箇所)	劣化 (m)
可視	本館	光庭①東面	69	0	0	0	0	0								
		光庭①南面	36	0	0	0	0	2	0							
		光庭①西面	39	0	0	0	0	3	0							
		光庭①北面	83	1	0	0	0	0	2							
		光庭②東面	182	1	0	0	0	0	0							
		光庭②南面	113	1	0	1	0	0	0							
		光庭②西面	0	0	0	0	0	0	0							
		光庭②北面	221	2	3	0	12	0	0							
		光庭③東面	73	0	0	1	0	0	0							
		光庭③南面	7	2	0	1	6	0	0							
		光庭③西面	15	0	0	0	0	0	2							
		光庭③北面	0	0	0	0	3	0	0							
		合計	838	7	3	3	26	4								

調査方法	建物	発生面	タイル部						非タイル部						シーリング		
			ひび割れ(枚)	欠け(枚)	浮き(枚)	剥落(枚)	爆製(枚)	汚れ(箇所)	目地劣化(箇所)	ひび割れ(m)	爆製(箇所)	発錆(箇所)	汚れ(箇所)	塗膜剥がれ(箇所)	果(箇所)	劣化(m)	
可視	研究棟	東面	576	0	2	0	0	0	3	1	5.3	0	1	0		0	51.77
		南面	486	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	1.03
		西面	1809	2	0		47	5	20	1	3.8	1	2	2		1	198.35
		合計	2871	2	2	47	5	23	2	9.1	1	3	2		1	251.15	

調査方法	建物	発生面	タイル部						非タイル部						シーリング	
			ひび割れ(枚)	欠け(枚)	浮き(枚)	剥落(枚)	爆製(枚)	汚れ(箇所)	目地劣化(箇所)	ひび割れ(m)	爆製(箇所)	発錆(箇所)	汚れ(箇所)	塗膜剥がれ(箇所)	果(箇所)	劣化(m)
可視	緩和ケア病棟	東面	32		121	0	20	20	0	0		2	2			2.4
		南面	18		8	0	6	1	0	0	0	1			0	
		西面	14		12	1	3	6	4	1.65		0	1			0.3
		北面	16		2	0	0	6	0	0	0	1			2	
		合計	80	0	143	1	29	33	4	1.65		2	5			4.7

調査方法	建物	発生面	タイル部						非タイル部						シーリング	
			ひび割れ(枚)	欠け(枚)	浮き(枚)	剥落(枚)	爆製(枚)	汚れ(箇所)	目地劣化(箇所)	ひび割れ(m)	爆製(箇所)	発錆(箇所)	汚れ(箇所)	塗膜剥がれ(箇所)	果(箇所)	劣化(m)
可視	給気棟	東面	15					4	0			0				0
		南面	5					1	0			1				3.2
		西面	34					4	4			0				0
		北面	10					1	0			0				0
		合計	64	0	0	0	0	10	4	0	0	1	0	0	0	3.2